

2019年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2202111	色彩学 Color Master BASIC	山中 マキ	専門	2	選択	1年 前期
科目の概要						
色の持つ物理的側面・心理的側面・デザインの側面を講義形式による理論の説明と共に、カラーカードを用いた演習形式による指導を行い、色彩の基礎を習得する。 色彩を系統的に学ぶことにより、それぞれの目的によって客観的に色彩を使いこなせる実践能力を修得することを目的とする。						
学修内容			到達目標			
① 色彩の本質を物理的な視点から理解する ② 色彩を感じ取る人間側について理解する ③ 色彩を組み合わせた場合の効果について理解する ④ 講義で学んだ内容を、カラーカードを用いて自ら表現できるようになることを目的とする ⑤ 市場に流通している商品の色彩分析の仕方を理解する			① 色彩の物理的側面を理解することができる ② 色彩の心理的側面を理解することができる ③ 色彩のデザインの側面を理解することができる ④ 自らカラーカードを使用し、講義で理解した内容を色で表現することができる ⑤ 市販されている商品の色彩分析をし、なぜその色が用いられているのかを考察することができる			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	単にテキストを丸暗記するだけでなく、学んだことを実社会に応用できるよう常に意識することができる。				
	働きかけ力					
	実行力	期限までに提出課題を仕上げる為に、目標を決め最後までやりきることができる				
考え抜く力	課題発見力	生活の中で出会う色彩を常に意識し、疑問や課題を持ちながら授業に臨むことができる。				
	計画力					
	創造力	学んだ基礎知識を課題提出や作品に応用し、自ら考えて創造することができる				
チームで働く力	発信力	提出課題や作品では求められている色彩表現を、誰もが分かりやすく客観的に行うことができる				
	傾聴力	講義内容を理解しようと努力することができる。 また、理解できなかった内容を質問することができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	提出物の期限を守ることができる。 無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、積極的に参加することができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
■ Color Master BASIC (ADEC 色彩士検定教育委員会作成) 2,533 円(税抜) ■ 配色カード 158b(日本色研事業) 1,780 円(税抜) ※他にハサミとノリを持参						
他科目との関連、資格との関連						
(他科目との関連) 色彩はあらゆる分野と関連のある重要な要素である為、他科目に応用が可能 (資格との関連) 『色彩士検定(3級)』対応 『色彩検定(3級)』対応(ただし、受検する場合は AFT のテキストを別途購入することが望ましい)。						
学修上の助言			受講生とのルール			
講義内では記入用のプリントを配布するが、講義後は必ずテキストの該当ページを熟読し、理解を深めること			欠席者には使用したプリントを翌週渡します。 解答については出席者に聞か自らテキストを読んで記入すること。 当日欠席により課題提出が遅れる場合は事前に受付します。 携帯電話の電源は切り、カバンにしまっておくこと。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験	60	①	✓	学期末に 60 点満点の筆記試験を行う。(選択問題/1 問1点) テキスト及び配布プリントの内容から出題する。 授業で学習した内容の理解度を確認する。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
小テスト				
レポート	25	①		期間内で 2 回提出課題有り。 講義内で学んだ理論を、カラーカードを用い色で表現できているかを評価する。 ■課題①「対比」・・・10 点 ■課題②「配色」・・・15 点
		②		
		③		
		④	✓	
		⑤		
成果発表 (口頭・実技)				
作品	5	①		15 回目の講義で、市販されている商品のパッケージの色彩を分析及び考察し、A3 のプレゼンテーションシート 1 枚にまとめる。 学んだ内容を反映できているかを評価する。 ■色彩の抽出、分析、考察ができていない(4～5 点) ■色彩の抽出、分析ができていない(2～3 点) ■色彩の抽出ができていない(1点)
		②		
		③		
		④		
		⑤	✓	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性)単にテキストを丸暗記するだけでなく、学んだことを実社会に応用できるよう常に意識することができる。 (実行力)期限までに提出課題を仕上げる為に、目標を決め最後までやりきることができる (課題発見力)生活の中で出会う色彩を常に意識し、疑問や課題を持ちながら授業に臨むことができる。 (創造性)学んだ基礎知識を課題提出や作品に応用し、自ら考えて創造することができる (発信力)提出課題や作品では求められている色彩表現を、誰もが分かりやすく客観的に行うことができる (傾聴力)講義内容を理解しようと努力することができる。 また、理解できなかった内容を質問することができる。 (規律性)提出物の期限を守ることができる。 無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、積極的に参加することができる。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
S(秀):総合得点が 100～90 点 A(優):総合得点が 89～80 点	B(良):総合得点が 79～70 点

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	色が見える仕組み① 色知覚の三要素のうち、『光』について理解する。	講義 回折格子を用いた 分光実験	色知覚の三要素のうち、『光』の特性について理解することができる	復習として、テキストと配布プリントを熟読し、理解を深める	180	主体性 傾聴力 規律性
2週 /	色が見える仕組み② 色知覚の三要素のうち、『物体』について理解する。	講義	色知覚の三要素のうち、『物体』の特性について理解することができる	復習として、テキストと配布プリントを熟読し、理解を深める	180	主体性 傾聴力 規律性
3週 /	色が見える仕組み③ 色知覚の三要素のうち、『視覚』について理解する。	講義 視覚実験	色知覚の三要素のうち、『視覚』の特性について理解することができる	復習として、テキストと配布プリントを熟読し、理解を深める	180	主体性 傾聴力 規律性
4週 /	混色の原理(加法混色、減法混色、中間混色)と、身近にある混色の実際を理解する。	講義 混色のデモンストラーション	混色の原理と実際の活用方法について理解することができる	復習として、テキストと配布プリントを熟読し、理解を深める	180	主体性 傾聴力 規律性
5週 /	色の表示方法① 『言葉(慣用色名、系統色名)』で伝える	講義	色を言葉で表す方法について理解することができる	復習として、テキストと配布プリントを熟読し、理解を深める	180	主体性 傾聴力 規律性
6週 /	色の表示方法② 『色の三属性(数値や記号)』で伝える	講義	色を数値や記号で表す方法について理解することができる	復習として、テキストと配布プリントを熟読し、理解を深める	180	主体性 傾聴力 規律性
7週 /	色の表示方法③ 『日本色研配色体系 PCCS』を理解する	講義 カラーカードを用いた演習	PCCS での色の表示方法を理解することができる	復習として、テキストと配布プリントを熟読し、理解を深める	180	主体性 傾聴力 規律性
8週 /	色の知覚的効果① 色が同時に2色以上存在する場合の色の見え方の変化について学ぶ	講義 カラーカードを用いた演習	カラーカードを用い、色の知覚的効果を理解することができる	復習として、テキストと配布プリントを熟読し、理解を深める	180	主体性 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	色の知覚的効果② 情報伝達的手段として、色の機能性に着目する	講義	情報手段として利用されている色の機能性を理解することができる	提出課題有り(1)	180	主体性 実行力 規律性
10週 /	色の心理的効果 色が持つ連想や象徴、歴史や意味を理解することにより、共感の得られやすいカラーデザインを目指す	講義 世界の色の歴史や使われ方を写真で紹介	色の様々な歴史や社会的意味を理解することができる	復習として、テキストと配布プリントを熟読し、理解を深める	180	主体性 傾聴力 規律性
11週 /	色彩調和① 色彩調和の原理や形式など、考え方の基本を学ぶ	講義 カラーカードを用いた演習	色彩調和の考え方の基本を身につけることができる	授業内で完成できなかった演習を宿題とする	180	主体性 実行力 創造力
12週 /	色彩調和② 様々な配色形式と、そこから受ける印象の違いを学ぶ	講義 カラーカードを用いた演習	様々な配色形式を理解し、印象の違いを探ることができる	授業内で完成できなかった演習を宿題とする	180	主体性 実行力 創造力
13週 /	色彩調和③ 調和しにくい色同士を組み合わせる場合のテクニックを学ぶ	講義 カラーカードを用いた演習	調和させにくい色を組み合わせるテクニックを身に着ける	授業内で完成できなかった演習を宿題とする	180	主体性 実行力 創造力
14週 /	色彩調和④ 伝統的・慣習的に用いられている様々な配色方法を学ぶ	講義 カラーカードを用いた演習	世界の伝統的・慣習的な配色方法を表現できる	提出課題有り(2) 色彩調和①～④の授業内及び宿題で作成した演習を提出	180	主体性 実行力 創造力
15週 /	色彩分析 これまで学んできた色彩調和が、どのように身近なものに活かされているかを分析・考察する	市販商品のパッケージを用いた分析実習	分析と考察をプレゼンテーションシート 1枚にまとめる	分析したいパッケージ(お菓子や雑誌の切抜きなど)を各自持参すること	180	実行力 課題発見力 創造力 発信力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力